

日本史学科専門科目（平成27年度入学生用）

科目コード	授業コード	科目名	単位	時数	学年	開講	担当教員	教職必修	概要	開放
基礎科目	30070 30080	日本史概説 1	②	30	1	前期	吉田 歆	東洋史 西洋史[英]は専門単位[国・社]は教養単位		教養 教養 教養 教養 教養 教養
		日本史概説 2	②	30	1	前期	藪部 寿樹			
		日本史概説 3	②	30	1	前期	小林 文雄			
		日本史概説 4	②	30	1	後期	布施 賢治			
		日本史概説 5	②	30	1	後期	松田 澄子			
		日本史概説 6	②	30	1	後期	原 淳一郎			
	30120	外国史 1	②	30	1・2	後期	鈴木 博之			
		外国史 2	②	30	1・2	前期	浅野 啓子			
		古文書学 1	②	30	1	前期	布施 賢治			
		古文書学 2	②	30	1	後期	小林 文雄			
		史学実習 1	①	45	1	後期	原 淳一郎	日本史専任教員		
		史学実習 2	①	45	2	前期	日本史専任教員			
基幹科目	30210 30220 30230 30240 30250 30260	日本史講読 1 A	2	30	1・2	前期	吉田 歆	1年次にA・B両方を履修	古代史 中世史 近世史 近代史 現代史 文化史	
		日本史講読 2 A	2	30	1・2	前期	藪部 寿樹			
		日本史講読 3 A	2	30	1・2	前期	小林 文雄			
		日本史講読 4 A	2	30	1・2	前期	布施 賢治			
		日本史講読 5 A	2	30	1・2	前期	松田 澄子			
		日本史講読 6 A	2	30	1・2	前期	原 淳一郎			
	30310 30320 30330 30340 30350 30360	日本史講読 1 B	2	30	1・2	後期	吉田 歆			
		日本史講読 2 B	2	30	1・2	後期	藪部 寿樹			
		日本史講読 3 B	2	30	1・2	後期	小林 文雄			
		日本史講読 4 B	2	30	1・2	後期	布施 賢治			
		日本史講読 5 B	2	30	1・2	後期	松田 澄子			
		日本史講読 6 B	2	30	1・2	後期	原 淳一郎			
	30410 30420 30430 30440 30450 30460	日本史特殊研究 1 A	2	30	2	前期	吉田 歆	Aと同一番号を履修	古代史 中世史 近世史 近代史 現代史 文化史	
		日本史特殊研究 2 A	2	30	2	前期	藪部 寿樹			
		日本史特殊研究 3 A	2	30	2	前期	小林 文雄			
		日本史特殊研究 4 A	2	30	2	前期	布施 賢治			
		日本史特殊研究 5 A	2	30	2	前期	松田 澄子			
		日本史特殊研究 6 A	2	30	2	前期	原 淳一郎			
	30510 30520 30530 30540 30550 30560	日本史特殊研究 1 B	2	30	2	後期	吉田 歆			
		日本史特殊研究 2 B	2	30	2	後期	藪部 寿樹			
		日本史特殊研究 3 B	2	30	2	後期	小林 文雄			
		日本史特殊研究 4 B	2	30	2	後期	布施 賢治			
		日本史特殊研究 5 B	2	30	2	後期	松田 澄子			
		日本史特殊研究 6 B	2	30	2	後期	原 淳一郎			
30610 30620 30630 30640 30650 30660 30710 30720 30730 30740 30750 30760	日本史演習 1 A	2	30	2	前期	吉田 歆	Aと同一番号を履修	古代史 中世史 近世史 近代史 現代史 文化史		
	日本史演習 2 A	2	30	2	前期	藪部 寿樹				
	日本史演習 3 A	2	30	2	前期	小林 文雄				
	日本史演習 4 A	2	30	2	前期	布施 賢治				
	日本史演習 5 A	2	30	2	前期	松田 澄子				
	日本史演習 6 A	2	30	2	前期	原 淳一郎				
	日本史演習 1 B	2	30	2	後期	吉田 歆				
	日本史演習 2 B	2	30	2	後期	藪部 寿樹				
	日本史演習 3 B	2	30	2	後期	小林 文雄				
	日本史演習 4 B	2	30	2	後期	布施 賢治				
	日本史演習 5 B	2	30	2	後期	松田 澄子				
	日本史演習 6 B	2	30	2	後期	原 淳一郎				
展開科目	30810	女性史 1	2	30	1・2	前期	佐藤和賀子	国文と合同	本年度開講せず	教養 教養 教養 教養 教養 教養
	30820	女性史 2	2	30	1・2	前期	佐藤和賀子			
	30830	考古学概説	2	30	1・2	前期	佐藤 庄一			
	30840	民俗学概説	2	30	1・2	前期	岩鼻 通明			
	30850	歴史考古学	2	30	1・2	後期	吉田 歆			
	30860	生活文化史 1	2	30	1・2	後期	小林 文雄			
	30870	生活文化史 2	2	30	1・2	後期	松田 澄子			
	30880	国際交流史	2	30	1・2	後期	布施 賢治			
関連科目	30910	地理学 1	2	30	1・2	前期	藪部 寿樹	○ ○ ○ ② ② ②	人文地理学 自然地理学 9月開講	教養 教養 教養 教養
	30920	地理学 2	2	30	1・2	集中	佐野 嘉彦			
	30930	地誌学	2	30	1・2	後期	藪部 寿樹			
	30940	法律学	2	30	1・2	後期	高木 紘一			
	30950	政治学	2	30	1・2	後期	亀ヶ谷 雅彦			
	30960	社会学	2	30	1・2	前期	中川 恵			
	30970	経済学	2	30	1・2	前期	鈴木 久美			
	30980	倫理学	2	30	1・2	集中	大川 真			
	30990	哲学	2	30	1・2	前期	小熊 正久			
	31000	宗教学	2	30	1・2	前期	原 淳一郎			
	31010	思想史	2	30	1・2	前期	小野 卓也			
31110	卒業研究	④		2			[国]「東洋思想」で読替	教養 教養		

(注) ○数字は必修単位、}○数字は選択必修単位

「授業コード」がある場合、同じ科目名の授業の中から1つのみ選択できる

教職科目については、必修科目・選択必修科目を履修し、かつ教職必修欄の科目を履修することで条件を満たす
女性史1・女性史2は隔年開講、本年度は女性史2を開講

日本史学科専門科目（平成28年度入学生用）

	科目 コード	授業 コード	科目名	単位	時数	学年	開講	担当教員	教職 必修	摘要	開放
基礎科目	30010		日本史概説 1	②	30	1	前期	吉田 歆		東洋史 西洋史〔英〕は専門単位〔国・社〕は教養単位	教養 教養 教養 教養 教養 教養 教養 教養 教養 教養 教養
	30020		日本史概説 2	②	30	1	前期	藪部 寿樹			
	30030		日本史概説 3	②	30	1	前期	小林 文雄			
	30040		日本史概説 4	②	30	1	後期	布施 賢治			
	30050		日本史概説 5	②	30	1	後期	松田 澄子			
	30060		日本史概説 6	②	30	1	後期	原 淳一郎			
	30070		外国史 1	②	30	1・2	後期	鈴木 博之			
	30080		外国史 2	②	30	1・2	前期	浅野 啓子			
	30090		古文書学 1	②	30	1	前期	布施 賢治			
	30100	30101	古文書学 2	②	30	1	後期	小林 文雄			
	30100	30102	〃	②	30	1	後期	原 淳一郎			
	30110		史学実習 1	①	45	1	後期	日本史専任教員			
		史学実習 2	①	45	2	前期	日本史専任教員				
基幹科目	30210		日本史講読 1 A	2	30	1・2	前期	吉田 歆	1年次にA・B両方を履修	古代史 中世史 近世史 近代史 現代史 文化史 古代史 中世史 近代史 現代史 文化史	
	30220		日本史講読 2 A	2	30	1・2	前期	藪部 寿樹			
	30230		日本史講読 3 A	2	30	1・2	前期	小林 文雄			
	30240		日本史講読 4 A	2	30	1・2	前期	布施 賢治			
	30250		日本史講読 5 A	2	30	1・2	前期	松田 澄子			
	30260		日本史講読 6 A	2	30	1・2	前期	原 淳一郎			
	30310		日本史講読 1 B	2	30	1・2	後期	吉田 歆			
	30320		日本史講読 2 B	2	30	1・2	後期	藪部 寿樹			
	30330		日本史講読 3 B	2	30	1・2	後期	小林 文雄			
	30340		日本史講読 4 B	2	30	1・2	後期	布施 賢治			
	30350		日本史講読 5 B	2	30	1・2	後期	松田 澄子			
	30360		日本史講読 6 B	2	30	1・2	後期	原 淳一郎			
			日本史特殊研究 1 A	2	30	2	前期	吉田 歆	Aと同一番号を履修	古代史 中世史 近世史 近代史 現代史 文化史 古代史 中世史 近代史 現代史 文化史	
			日本史特殊研究 2 A	2	30	2	前期	藪部 寿樹			
			日本史特殊研究 3 A	2	30	2	前期	小林 文雄			
			日本史特殊研究 4 A	2	30	2	前期	布施 賢治			
			日本史特殊研究 5 A	2	30	2	前期	松田 澄子			
			日本史特殊研究 6 A	2	30	2	前期	原 淳一郎			
			日本史特殊研究 1 B	2	30	2	後期	吉田 歆			
			日本史特殊研究 2 B	2	30	2	後期	藪部 寿樹			
			日本史特殊研究 3 B	2	30	2	後期	小林 文雄			
			日本史特殊研究 4 B	2	30	2	後期	布施 賢治			
			日本史特殊研究 5 B	2	30	2	後期	松田 澄子			
			日本史特殊研究 6 B	2	30	2	後期	原 淳一郎			
		日本史演習 1 A	2	30	2	前期	吉田 歆	Aと同一番号を履修	古代史 中世史 近世史 近代史 現代史 文化史 古代史 中世史 近代史 現代史 文化史		
		日本史演習 2 A	2	30	2	前期	藪部 寿樹				
		日本史演習 3 A	2	30	2	前期	小林 文雄				
		日本史演習 4 A	2	30	2	前期	布施 賢治				
		日本史演習 5 A	2	30	2	前期	松田 澄子				
		日本史演習 6 A	2	30	2	前期	原 淳一郎				
		日本史演習 1 B	2	30	2	後期	吉田 歆				
		日本史演習 2 B	2	30	2	後期	藪部 寿樹				
		日本史演習 3 B	2	30	2	後期	小林 文雄				
		日本史演習 4 B	2	30	2	後期	布施 賢治				
		日本史演習 5 B	2	30	2	後期	松田 澄子				
		日本史演習 6 B	2	30	2	後期	原 淳一郎				
展開科目	30810		女性史 1	2	30	1・2	前期	佐藤和賀子		本年度開講せず 国文と合同	教養 教養 教養 教養 教養 教養 教養 教養
	30820		女性史 2	2	30	1・2	前期	佐藤和賀子			
	30830		考古学概説	2	30	1・2	前期	佐藤 庄一			
	30840		民俗学概説	2	30	1・2	前期	岩鼻 通明			
	30850		歴史考古学	2	30	1・2	後期	吉田 歆			
	30860		生活文化史 1	2	30	1・2	後期	小林 文雄			
	30870		生活文化史 2	2	30	1・2	後期	松田 澄子			
	30880		国際交流史	2	30	1・2	後期	布施 賢治			
関連科目	30910		地理学 1	2	30	1・2	前期	藪部 寿樹	○ ○ ○ ② ② ② ②	人文地理学 自然地理学 9月開講 〔社〕「政治心理学」で読替 社会情報と合同 〔社〕「経済学入門」で読替 9月開講 〔国〕「東洋思想」で読替	教養 教養 教養 教養 教養 教養 教養 教養 教養 教養 教養
	30920		地理学 2	2	30	1・2	集中	佐野 嘉彦			
	30930		地誌学	2	30	1・2	後期	藪部 寿樹			
	30940		法律学	2	30	1・2	後期	高木 紘一			
	30950		政治学	2	30	1・2	後期	亀ヶ谷 雅彦			
	30960		社会学	2	30	1・2	前期	中川 恵			
	30970		経済学	2	30	1・2	前期	鈴木 久美			
	30980		倫理学	2	30	1・2	集中	大川 真			
	30990		哲学	2	30	1・2	前期	小熊 正久			
	31000		宗教学	2	30	1・2	前期	原 淳一郎			
	31010		思想史	2	30	1・2	前期	小野 卓也			
		卒業研究	④		2						

(注) ○数字は必修単位、)○数字は選択必修単位

「授業コード」がある場合、同じ科目名の授業の中から1つのみ選択できる

教職科目については、必修科目・選択必修科目を履修し、かつ教職必修欄の科目を履修することで条件を満たす
女性史1・女性史2は隔年開講、本年度は女性史2を開講

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
30010		日本史概説 1	2	吉田 歓	前期	教養
<p>【達成目標】 日本古代史における諸問題について講義を行う。基本的には通史的な解説を行いながら進めていくが、テーマ史的な視点から、現在の歴史研究の状況についても解説していく。それによってより深く古代史を理解してほしい。</p> <p>【授業内容・方法】 各回、古代史に関わる問題やテーマを一つ取り上げて講義する。通史的な講義ではなく各テーマについて深く解説していく。</p> <p>【授業計画】 ①古代国家の誕生 ②古代国家の構造 ③古代の都の誕生 ④古代の都の源流 ⑤古代都市の衰退</p> <p>【テキスト】 とくに使用しない。必要に応じてプリントを配布する。</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 政治史だけにかたよらず、文化史などいろいろな分野にも目を配りながら進めていくので、何か一つでも興味を持てるテーマを見つけてもらいたい。</p> <p>【評価方法】 授業への参加度（50%）、レポート（50%）</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
30020		日本史概説 2	2	菌部 寿樹	前期	教養
<p>【達成目標】 1. 日本中世史の基礎的な知識を得ること。 2. 現代に立脚して長いタイムスパンで歴史をとらえる眼を養い、歴史学的な思考方法を会得すること。</p> <p>【授業内容・方法】 通常の概説のように時系列を重視するのではなく、研究上の問題点や興味深い話題を提供する形で講義をします。1～2回の講義で1つのテーマが完結する形で授業をすすめます。</p> <p>【授業計画】 ①中世とは何か ②・③中世の権力者と天皇 ④・⑤中世人の食生活 ⑥・⑦中世民衆の身分と名前 ⑧・⑨中世人の経済観念 ⑩・⑪中世人の時間観念 ⑫・⑬中世法の特質 ⑭・⑮中世の刑罰と社会</p> <p>【テキスト】 必要に応じて、プリントや参考資料を配布します。</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 一方通行とならない講義を心がけますので、積極的に授業に参加して下さい。また毎テーマ終了後に小アンケートを実施します。</p> <p>【評価方法】 期末レポート（90%）、小アンケート[記名記載]による評価（10%）</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
30030		日本史概説3	2	小林 文雄	前期	教養
<p>【達成目標】 1. 現代社会を理解する上で歴史的なものの見方が欠かせないことを理解できるようになる。 2. 問題関心を持って日本史を考えることができるようになる。</p> <p>【授業内容・方法】 日本近世史の諸問題について、講義を行う。通史的な概説や、政治史・経済史・文化史といった分野ごとの解説は行わず、研究上の争点や近年注目されているトピックを取り上げて講義する。</p> <p>【授業計画】 ①日本近世史とは何か ⑦百姓一揆にみる百姓の結合原理と行動様式 ②東アジアのなかの日本 ⑧～⑨近世の人々の読み書き能力 ③蝦夷地を取りまく世界 ⑩～⑪近世の村社会の特質一村の法と刑罰から— ④～⑤近代以前の日本の境界と国境 ⑫～⑬近世の郡中議定と地域社会 ⑥近世の統治の仕組みと統治の思想 ⑭～⑮近世の自然と社会</p> <p>【テキスト】 必要に応じて印刷物を配布する</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 授業の理解度をはかるために、質問用シートを何回か提出してもらいます。</p> <p>【評価方法】 期末レポート80%、質問用シートによる評価20%</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
30040		日本史概説4	2	布施 賢治	後期	教養
<p>【達成目標】 自ら問題意識を持ち、日本近代史の諸問題について考え、それを現代社会の諸問題と関連づけて検討できるようになること。</p> <p>【授業内容・方法】 日本近代史の諸問題について概説的に講述する。講義形式。</p> <p>【授業計画】 ①明治維新の時代区分～明治維新はいつからいつまで？ ⑨立身出世主義～近代を動かした心のエンジンとは何だろうか？ ②明治維新と国家形成～明治維新の結果どんな社会が形成されたのか？～ ⑩大正デモクラシー～日本人はいつからアメリカを意識しだすのか？ ③明治維新と主体勢力～明治維新は誰が達成したのか？ ⑪現代化の契機とメディア～いつから現代は始まるのか～ ④海防と武士・農民・国家～異国船に日本はどう対応したのか？ ⑫デモクラシーと戦争～大正デモクラシーの後何故戦争がはじまるのか？ ⑤明治維新と剣術～新撰組はなぜ活躍できたのか？維新後彼らはどうなったのか？ ⑬総力戦と現代化—連続と断絶—～戦後社会はすでに戦前社会に出来ていたのか？ ⑥武士から士族へ～武士はどのようにリストラされたのか？ ⑭民衆と戦中・戦後～民衆は戦争・戦後とどのように向き合ったのか？ ⑦大日本帝国憲法を読んでみる～ *適宜、戦前・戦後のニュース映画などを見ます。 ⑧地方改良運動とは～現在の地域社会の原型はいつ頃形成されたのか？</p> <p>【テキスト】 特になし。必要に応じてプリントを配布します。</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 わかりやすい授業を心がけていきます。疑問点や質問は随時受け付けます。</p> <p>【評価方法】 期末レポート</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
30050		日本史概説5	2	松田 澄子	後期	教養

【達成目標】

1. 日本の近現代史に女性の歴史を重ねて理解する。
2. 近現代の女性の生き方やその当時の女性の役割・地位について理解を深める。

【授業内容・方法】

女性学や女性史の視点から近現代の女性の歴史に光を当てた講義をする。DVD（BD）も活用し、理解の一助とする。

【授業計画】

- | | | |
|----------------------|----------------|------------|
| ①女性学・女性史とは | ②家父長制と良妻賢母 | ③らいてうと『青鞥』 |
| ④女工たちのストライキ | ⑤女たちの米騒動 | ⑥市川房枝と婦選運動 |
| ⑦廃娼運動 | ⑧昭和恐慌・凶作と娘の身売り | ⑨大陸の花嫁 |
| ⑩日中・太平洋戦争と従軍慰安婦 | ⑪沖縄戦とひめゆり看護隊 | |
| ⑫特攻隊となでしこ隊（知覧高等女学校生） | ⑬ベアテさんと日本国憲法 | |
| ⑭経済成長と女性労働 | ⑮男女平等社会の実現のために | |

【テキスト】

プリントを配布する。

【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】

出欠を兼ねたアンケートを数回行います。これを参考にして、皆さんの感じ方や考え方に配慮した授業にしたいと思っています。

【評価方法】

レポート（90%）と授業への参加度（10%）で評価します。

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
30060		日本史概説6	2	原 淳一郎	後期	教養

【達成目標】

本授業の目的は3つある。第1に、歴史に親しんでもらうこと、第二に、文化史とはいかなる学問なのか知ってもらうこと。第3に、自分達が生まれた「日本列島」（「日本」とは限らない）がいかなる歴史を歩んできたかを認識してもらうこと、またはその手がかりを与えることである。本授業ではあまり時代にこだわらず、現代社会とつながる問題意識で多角的な歴史像を紹介したい。歴史学は記憶の学問ではない。考える学問である。ひとつの具体的事実が、どのような社会的背景から引き起こされたのか、私の力の及ぶ限り説明していきたい。

【授業内容・方法】

【授業計画】

- | | |
|-------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 史学とは？文化史とは？民俗学とは？文化人類学とは？ | 9 伊波普猷と沖縄学（ビデオ） |
| 2・3 歴史学における過去と現在（マルクス主義と皇国史観） | 10 被差別と伝統文化 |
| 4 稲作の起源と日本人起源論 | 11 都市と農村（太閤検地と徳川吉宗・柳田國男・柳宗悦） |
| 5 柳田國男と日本民俗学（ビデオ） | 12 国家と統計・調査（『菊と刀』、太平洋戦争史、外国人から見た日本、西洋と日本の差異） |
| 6 いくつもの日本（東と西の日本文化） | 13～15 日本人論の展開（『代表的日本人』、『茶の本』、『東洋の理想』、『武士道』、『手仕事の日本』、『日本風景論』、『遠野物語』、『ニッポン』、『日本文化私観』、『タテ社会の人間関係』、『甘えの構造』…） |
| 7 いくつもの日本（北と南の日本文化） | |
| 8 日本国の成立と「日本人」 | |

【テキスト】 佐々木高明『日本文化の多様性』（小学館、2009）

【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】

できうる限り色々な著書を読んだり、古文書に触れる機会をつくりたいと思います。歴史家、思想家、宗教家などの主張を紹介した際には、できうる限りその著書（現代語訳でもよいので）を読んでください。ある地域の話をする場合には、その場所をしっかりと認識してください。固有名詞や専門用語を登場させる場合には、耳だけで聞き流さないでください。ちょっと地図帳を開いたり、インターネットで調べるだけでもきっと違います。

【評価方法】 出席・数回の課題の2点で評価します。

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
30070		外国史 1	2	鈴木 博之	後期	教養
<p>【達成目標】 1. 戦後の日中関係の推移を理解する。 2. それを踏まえて、今後の日中関係を展望する。</p> <p>【授業内容・方法】 現在の中国（中華人民共和国）が成立してから、60年以上の年月が過ぎた。その間、中国も日本も大きな変化を見せながら21世紀を迎えている。本講義では、戦後の中国と日本との関係の中でエポックメイキング的な事件を取り上げて、両国の歩みを辿ってみたい。</p> <p>【授業計画】 ①序論 一日中近代の100年— ②中華人民共和国の成立 1949年10月 ③文化大革命 1966年6月 ④日中国交回復 1972年9月 ⑤教科書問題 1982年6月 ⑥終章 一改革開放の彼方—</p> <p>【テキスト】 使用しない（毎回プリントを配布する） （参考書）天兒慧「中華人民共和国史」（岩波新書 1441）</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 近年、中国の「反日運動」や領土問題等の影響からか日本では感情的な反中国意識が高まっており、国交回復後最悪の状況になっている。過去のわだかまりを乗り越えて、真の「日中友好」を築き上げるにはどうしたらいいか、皆さんと一緒に考えていきましょう。</p> <p>【評価方法】 定期テスト一回、レポート・授業への参加度（単位認定の参考にする）</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
30080		外国史 2	2	浅野 啓子	前期	教養
<p>【達成目標】 1. ヨーロッパの過去を学ぶことで、現代国際社会の諸問題を歴史的に理解できるようになる。 2. ヨーロッパの社会と文化が、排除と共存の過程を経て形作られてきたことを理解する。</p> <p>【授業内容・方法】 現代ヨーロッパの原型が形成された中世の時代（およそ5～15世紀）について、そのキリスト教的な社会、身分制と共同体に基づく社会の特徴を明らかにし、現代につながる問題についても考える。</p> <p>【授業計画】 ①多民族による多様な地域文化のヨーロッパ ②ケルト人の文化 ③アイルランド問題 ④キリスト教的中世世界の成立 ⑤レーン制と封建制 ⑥共同体と身分制 ⑦キリスト教文化 ⑧異端運動 ⑨ユダヤ人迫害 ⑩中世の女性観 ⑪女性の生き方 ⑫騎士文学 ⑬大学の成立 ⑭中世から近代へ ⑮まとめ</p> <p>【テキスト】 プリント配付</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 授業内容を問うアンケートとビデオ鑑賞を取り入れて、異文化への理解が深まる授業を目指します。</p> <p>【評価方法】 授業への参加度（40%）、期末の理解度確認調査（60%）</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
30090		古文書学 1	2	布施 賢治	前期	
<p>【達成目標】 歴史を学ぶさい、最も多く依拠されるのは古文書です。古文書には、その時代の政治体制によって、形式・紙質・用語・書体などにそれぞれの特長があります。それらの特長を理解しながら、できるだけ多くの古文書に接し、その読解力を深めるようにします。</p> <p>【授業内容・方法】 講義形式</p> <p>【授業計画】 古代・中世の古文書の様式について講述していきます。 ①古文書学とは ④鎌倉時代の武家文書 ⑦証書類 ②公式様文書 ⑤南北朝～戦国期の武家文書 ⑧藩政文書と近現代の史料 ③公家様文書 ⑥上申文書</p> <p>【テキスト】 プリントを配布します。</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 わかりやすい授業を心がけていきます。疑問点や質問は随時受け付けます。</p> <p>【評価方法】 授業への参加度と期末試験</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
30100	30101 ～02	古文書学 2	2	小林 文雄 (01) 原 淳一郎 (02)	後期	
<p>【達成目標】 近世文書で使われる書体の読解力を身につける。いわゆる「くずし字」を判読する力を高める。</p> <p>【授業内容・方法】 近世文書のコピー版を配布し、受講生が各自判読し、板書する。板書された判読結果に朱を入れ、解説を加える形で、授業を進める。1回目のガイダンスでクラス分けをおこなう。</p> <p>【授業計画】 ①くずし字読解のためのガイダンス、クラス分け ②～⑦「かな」の練習 ⑧～⑮「漢字」の練習</p> <p>【テキスト】 プリントを配布</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 受験生にとっては、くずし字を読むのは、骨が折れることと思います。でも、少し辛抱すれば、ちょっとずつ読めるようになっていきます。予習、復習を大切にしてください。</p> <p>【評価方法】 期末試験。</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
30110		史学実習 1	1	日本史専任教員	後期	
<p>【達成目標】 学外の講師を招聘し、最先端の研究成果に基づく講義、および自治体における文化財保護の現状に関する講義などを通じて、個人の卒業研究の参考とし、且つ日本史の専門的知識を生かした職業への理解を深める。また学外の史跡等見学を通じて各地域の歴史、文化、文化財保護の現状への理解を深める。</p> <p>【授業内容・方法】 学外の研究者による講義ならびに学外研修</p> <p>【授業計画】 学外講師による講義 6回 学内日本史専任教員による講義 3回 学外研修 6回</p> <p>【テキスト】 なし</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 学外講師および研修先は直前に決定し、すみやかに掲示します。毎回集合場所など変わりますので、掲示に注意してください。</p> <p>【評価方法】 出席 70%、課題 30%</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
30120		史学実習 2	1	日本史専任教員	前期	
<p>【達成目標】 学外の講師を招聘し、最先端の研究成果に基づく講義、および自治体における文化財保護の現状に関する講義などを通じて、個人の卒業研究の参考とし、且つ日本史の専門的知識を生かした職業への理解を深める。また学外の史跡等見学を通じて各地域の歴史、文化、文化財の保護の現状への理解を深める。</p> <p>【授業内容・方法】 学外の研究者による講義ならびに学外研修 夏季休暇中における研究室ごとの研修旅行</p> <p>【授業計画】 学外講師による講義 6回 学内日本史専任教員による講義 3回 学外研修 6回 夏季休暇中における研修旅行</p> <p>【テキスト】 なし</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 学外講師および研修先は直前に決定し、すみやかに掲示します。毎回集合場所など変わりますので、掲示に注意してください。</p> <p>【評価方法】 出席 70%、課題 30%</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
30210		日本史講読 1 A	2	吉田 勲	前期	
<p>【達成目標】 古代史の基本的な文献史料を読むことを通じて、古代史に関する知識を深めるとともに、文献史料を読む方法、調べる方法を身につけることを目的とする。</p> <p>【授業内容・方法】 『続日本紀』を読む。受講者各自が分担して調査・報告する形をとる。ここから、奈良時代の政治・制度・人物・社会・文化など、さまざまな姿を見つけてもらいたい。</p> <p>【授業計画】 ①『続日本紀』と六国史の解説 ②受講者による報告</p> <p>【テキスト】 プリントを配付する。</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 漢文です。 漢和辞典や歴史辞典類を面倒くさげにひくことが大事。自分で調べる力をつけて欲しい。 (参考書) 新古典文学大系『続日本紀』一～五(岩波書店) 林陸朗編『完訳注釈 続日本紀』(現代思潮社) 早川庄八『古典講読シリーズ 続日本紀』(岩波書店)</p> <p>【評価方法】 授業への参加度(50%)、レポート(50%)</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
30220		日本史講読 2 A	2	藺部 寿樹	前期	
<p>【達成目標】 1. 中世の文献史料の読解力を身につけること。 2. 中世の政治・社会・文化などに関して認識を深めること。</p> <p>【授業内容・方法】 中世の王族・伏見宮貞成の日記『看聞日記』を読みます。</p> <p>【授業計画】 受講者各自が逐条分担して調査・報告するかたちで、輪読します。 受講者1人あたり、最低でも2回は担当できるようにしたいと思います。</p> <p>【テキスト】 『図書寮叢刊 看聞日記』を用います。講読箇所について、プリントを配布します。 参考文献は、横井清『室町時代の一皇族の生涯』(講談社学術文庫)、位藤邦生『伏見宮貞成の文学』(清文堂)、松岡心平編『看聞日記と中世文化』(森話社)などです。この3冊は、附属図書館にあります。購入する必要はありません。その他の参考文献は講義中に適宜指示します。</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 漢字だらけの文体で、最初はとりくみがたい感じがすると思います。しかし、読解の作業により、中世社会の興味深い事象が具体的かつ豊かに理解できるようになるでしょう。自己の担当分だけではなく、他の受講者の担当箇所についても、その読解に関して積極的に取り組むことを期待しています。教員としても、受講生が発言しやすいように工夫したいと思います。</p> <p>【評価方法】 期末レポート(80%)、平常点(20%) 平常点においては、読解のための調査をできるかぎりおこなったかどうか、積極的に解釈に取り組んだかどうかを中心に評価します。</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
30230		日本史講読 3 A	2	小林 文雄	前期	
<p>【達成目標】 1. 近世史料（江戸時代の文章・文体）に慣れる。 2. 近世の紀行文の読解を通して、奥羽（東北地方）生活文化への知見を深める。</p> <p>【授業内容・方法】 菅江真澄の紀行文を読む。受講者が、割り当てられた部分を読み、現代語訳する。そこから、近世史の諸問題について考察する。</p> <p>【授業計画】 ①近世史料の特徴の解説とテキストの説明 ②近世後期の政治・社会状況の解説 ③～⑮ 受講者による報告</p> <p>【テキスト】 『菅江真澄全集』（未来社）より抜粋（プリントを配布します。）</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 最初のうちは、文章が難しく感じられるかも知れません。でも、菅江真澄の旅を追体験することで、江戸時代の庶民の生活にふかく入り込むことができれば、興味をもって読めるようになると思います。</p> <p>【評価方法】 期末レポート70%、授業での報告20%</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
30240		日本史講読 4 A	2	布施 賢治	前期	
<p>【達成目標】 日本近代史の基本的な史料の講読を通じて、近代史の政治・社会・文化に関する知識を高めることを目標とする。</p> <p>【授業内容・方法】 演習形式</p> <p>【授業計画】 以下のテキストの中から、受講生各人が興味ある史料を選択し、それを報告してもらう。 授業はゼミ形式で、1回につき1人ずつ発表してもらい、受講生全員で討論を行う。 『日本史史料4 近代』（岩波書店、1997年） 『日本史史料5 現代』（岩波書店、1997年） 『近代史史料』（吉川弘文館、1965年）</p> <p>【テキスト】 該当史料のプリントを配布します。</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 わかりやすい授業を心がけていきます。疑問点や質問は随時受け付けます。</p> <p>【評価方法】 授業への参加度と担当する報告レジュメの内容。</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
30250		日本史講読 5 A	2	松田 澄子	前期	
<p>【達成目標】 1. 近現代の女性に関する文献の講読を通じて、基礎的な知識を身につける。 2. 史料の読解力を養う。</p> <p>【授業内容・方法】 近現代の女性に関する文献を輪読します。</p> <p>【授業計画】 文献を選んで輪読します。</p> <p>【テキスト】 文献は、学生と相談の上決定します。必要に応じてプリント配布します。</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 女性の立場から見ることによって、その時代の興味深い事実が見えてきます。皆さんの理解の仕方や感じ方に配慮しながら、進めていきたいと思っています。</p> <p>【評価方法】 期末レポート（80%）と平常点（20%）で評価します。 平常点は、出席及び授業に積極的に参加したかどうかを評価します。</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
30260		日本史講読 6 A	2	原 淳一郎	前期	
<p>【達成目標】 史料を音読し慣れることで史料読解力を高める。また使用する史料を手掛かりにして、日本の宗教史・文化史などへの理解も深める。</p> <p>【授業内容・方法】 柳田国男の著書・論考・手紙の輪読および簡単な討論を通して、日本文化を理解する手がかりとしたいと考えています。また南方熊楠との「山人論争」および近代天皇制国家による神社合祀政策への共闘、あるいは柳田の植民地主義・国家主義的な側面、エロティシズムの排除、実証的な研究方法などを紹介するなどして、柳田という人物への思想史的理解、ならびに民俗学の研究手法および先行研究批判の過程をともに学んでいきたいと考えています。</p> <p>【授業計画】</p> <p>【テキスト】 授業のなかで配布します。ただし人数が少なければ、各自全集などから興味のあるものを選んでもらい皆で読んでいくことも考えています。</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 しっかりと予習をしてきてください。</p> <p>【評価方法】 輪読、課題報告、出席の3点で評価します。</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
30310		日本史講読 1 B	2	吉田 勲	後期	
<p>【達成目標】 古代史の基本的な文献史料を読むことを通じて、古代史に関する知識を深めるとともに、文献史料を読む方法、調べる方法を身につけることを目的とする。</p> <p>【授業内容・方法】 『続日本紀』を読む。受講者各自が分担して調査・報告する形をとる。ここから、奈良時代の政治・制度・人物・社会・文化など、さまざまな姿を見つけてもらいたい。</p> <p>【授業計画】 ①『続日本紀』と六国史の解説 ②受講者による報告</p> <p>【テキスト】 プリントを配付する。</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 漢文です。 漢和辞典や歴史辞典類を面倒くさげらずにひくことが大事。自分で調べる力をつけて欲しい。 (参考書) 新古典文学大系『続日本紀』一～五(岩波書店) 林陸朗編『完訳注釈 続日本紀』(現代思潮社) 早川庄八『古典講読シリーズ 続日本紀』(岩波書店)</p> <p>【評価方法】 授業への参加度(50%)、レポート(50%)</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
30320		日本史講読 2 B	2	藺部 寿樹	後期	
<p>【達成目標】 1. 中世の文献史料の読解力を身につけること。 2. 中世の政治・社会・文化などに関して認識を深めること。</p> <p>【授業内容・方法】 中世の王族・伏見宮貞成の日記『看聞日記』を読みます。</p> <p>【授業計画】 受講者各自が逐条分担して調査・報告するかたちで、輪読します。 受講者1人あたり、最低でも2回は担当できるようにしたいと思います。</p> <p>【テキスト】 『図書寮叢刊 看聞日記』を用います。講読箇所について、プリントを配布します。 参考文献は、横井清『室町時代の一皇族の生涯』(講談社学術文庫)、位藤邦生『伏見宮貞成の文学』(清文堂)、松岡心平編『看聞日記と中世文化』(森話社)などです。この3冊は、附属図書館にあります。購入する必要はありません。その他の参考文献は講義中に適宜指示します。</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 漢字だらけの文体で、最初はとりくみがたい感じがすると思います。しかし、読解の作業により、中世社会の興味深い事象が具体的かつ豊かに理解できるようになるでしょう。自己の担当分だけではなく、他の受講者の担当箇所についても、その読解に関して積極的に取り組むことを期待しています。教員としても、受講生が発言しやすいように工夫したいと思います。</p> <p>【評価方法】 期末レポート(80%)、平常点(20%) 平常点においては、読解のための調査をできるかぎりおこなったかどうか、積極的に解釈に取り組んだかどうかを中心に評価します。</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
30330		日本史講読 3 B	2	小林 文雄	後期	
<p>【達成目標】 1. 近世史料の読解力を高める。 2. 近世史の基本ツールの活用法を身につけ、歴史学の調査方法と手順を習得する。</p> <p>【授業内容・方法】 『耳囊』（みみぶくろ、岩波文庫版）を読む。受講者が各自興味ある1条を選び、調査・報告する。</p> <p>【授業計画】 ①近世史料の特徴とテキスト『耳囊』の解説 ②～⑮受講生による報告と質疑応答</p> <p>【テキスト】 プリントを配布</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 『耳囊』は、近世後期の幕府の役人が雑話・綺談を集めてまとめたもので、当時の庶民や武士の生活感情をうかがうことができる史料です。ぜひ、積極的に授業に参加して、史料のなかから面白いテーマを見つけてください。私も、みなさんが質問や発言しやすくなる環境をつくっていきたいと考えています。</p> <p>【評価方法】 期末レポート50%、授業での報告50%</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
30340		日本史講読 4 B	2	布施 賢治	後期	
<p>【達成目標】 日本近代史の基本的な史料の講読を通じて、近代史の政治・社会・文化に関する知識を高めることを目標とする。</p> <p>【授業内容・方法】 演習形式</p> <p>【授業計画】 以下のテキストの中から、受講生各人が興味ある史料を選択し、それを報告してもらう。 授業はゼミ形式で、1回につき1人ずつ発表してもらい、受講生全員で討論を行う。 『日本史史料4 近代』（岩波書店、1997年） 『日本史史料5 現代』（岩波書店、1997年） 『近代史史料』（吉川弘文館、1965年）</p> <p>【テキスト】 該当史料のプリントを配布します。</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 わかりやすい授業を心がけていきます。疑問点や質問は随時受け付けます。</p> <p>【評価方法】 授業への参加度と担当する報告レジュメの内容。</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
30350		日本史講読 5 B	2	松田 澄子	後期	
<p>【達成目標】 1. 近現代の女性に関する文献の講読を通じて、基礎的な知識を身につける。 2. 史料の読解力を養う。</p> <p>【授業内容・方法】 近現代の女性に関する文献を輪読します。</p> <p>【授業計画】 文献を選んで輪読する。</p> <p>【テキスト】 文献は、学生と相談の上決定する。</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 女性の立場から見ることによって、その時代の興味深い事実が見えてきます。皆さんの理解の仕方や感じ方に配慮しながら、進めていきたいと思っています。</p> <p>【評価方法】 期末レポート（80%）と平常点（20%）で評価します。 平常点は、出席及び授業に積極的に参加しかどうかを評価します。</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
30360		日本史講読 6 B	2	原 淳一郎	後期	
<p>【達成目標】 史料を音読し慣れることで史料読解力を高める。また使用する史料を手掛かりにして、日本の宗教史・文化史などへの理解も深める。</p> <p>【授業内容・方法】 『旅行用心集』のほか旅行史に関連する史料をもとに、毎回受講生による輪読および関連する課題報告（要レジュメ作成）をもとに授業を進めます。少人数であれば、各自の担当箇所を決めて、語句説明・現代語訳まで行ってもらいます。</p> <p>（現在の予定では、『旅行用心集』のほか『伊勢物語（東下りの段）』『東関紀行』『笈の小文』『野ざらし紀行』等の紀行文、『東海道名所記』『東海道中膝栗毛』、『東海道名所図会』など東海道関連の諸書を扱う予定です）</p> <p>【授業計画】</p> <p>【テキスト】 授業のなかで配布する。</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 しっかりと予習をしてきてください。</p> <p>【評価方法】 輪読、課題報告、出席の3点で評価します。</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
30410		日本史特殊研究 1 A	2	吉田 勲	前期	
<p>【達成目標】 古代史の多様な文献史料にふれるとともに、古代の政治・社会・地域・文化についての理解を深める。あわせて古代史料の調査方法を身につける。</p> <p>【授業内容・方法】 日本思想大系本『律令』の令を読む。分担して担当者を決め、ゼミ形式で進めていく。</p> <p>【授業計画】 ①律令の編纂について解説 ②受講者による報告</p> <p>【テキスト】 『律令』（コピーして配布する）</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 古代史料の読み方、調べ方を身につけてもらいたい。 なお、「日本史特殊研究 1 B」「日本史演習 1 A・B」とあわせて受講すること。</p> <p>【評価方法】 授業への参加度（50%）、報告（50%）</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
30420		日本史特殊研究 2 A	2	藺部 寿樹	前期	
<p>【達成目標】 中世史に対する深い理解を得ること。</p> <p>【授業内容・方法】 中世社会史に関する主要な史料を、ゼミ形式で解説し考察します。</p> <p>【授業計画】 『吾妻鏡』を輪読します。</p> <p>【テキスト】 『吾妻鏡』（新訂増補国史大系）のコピーを配付します。</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 中世史の面白さを、より深く知ってほしいと思います。また、調査研究することの難しさ・楽しさ、そして発見することの喜びを味わって下さい。 ゼミ形式なので、受講生の積極的な発言を期待します。教員としても、受講生が発言しやすいように工夫したいと思います。 日本史演習 2 A と密接に関連させて授業をしますので、あわせて受講してください。</p> <p>【評価方法】 平常点。講読分担箇所の調査・解説の状況や、ゼミ討論への取り組みなどを評価します。</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
30430		日本史特殊研究 3 A	2	小林 文雄	前期	
<p>【達成目標】 1. 近世史料の読解方法を修得する。 2. 近世史の研究方法を身につける</p> <p>【授業内容・方法】 受講生各自が関心を持つ近世史料を選び、それについて調査・報告する。1～2回、史跡見学・調査を取り入れる。</p> <p>【授業計画】 ①近世史料についての解説 ②～⑫受講者各自の報告と質疑応答 ⑬～⑮史跡見学・調査</p> <p>【テキスト】 受講生の関心に合わせて決めたいと思います。</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 教室での授業が中心となりますが、現地を歩いて学ぶことも大切です。古地図を片手に、できるだけ現地を歩く機会を持ちたいと思います。なお、「日本史特殊研究 3 B」、「日本史演習 3 A」、「日本史演習 3 B」と連動させた授業を行いますので、あわせて受講してください。</p> <p>【評価方法】 授業での報告 60%、討論への参加度 40%</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
30440		日本史特殊研究 4 A	2	布施 賢治	前期	
<p>【達成目標】 日本近代史に関する史料の講読を通じて、日本近代史の諸問題に対する理解を深める。政治史だけでなく、民衆史、文化史、地域史など、多様な史料を読んでいきたい。</p> <p>【授業内容・方法】 演習形式</p> <p>【授業計画】 ゼミ形式で1回につき1人ずつ発表してもらい、受講生全員で討論を行う。史料は受講生の興味や研究分野などを考慮して、話し合いながら受講生が担当する史料を具体的に決めていきたい。</p> <p>【テキスト】 受講生各人の関心にあわせて決定し、プリントを配布します。</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 日本史特殊研究 4 B、日本史演習 4 A・4 Bと関連して授業を行うので、あわせて受講してください。</p> <p>【評価方法】 授業への参加度と担当する報告レジュメの内容。</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
30450		日本史特殊研究 5 A	2	松田 澄子	前期	
<p>【達成目標】 近現代の女性の歴史について理解を深める。</p> <p>【授業内容・方法】 近現代の女性史に関する文献を学生と相談の上決めて輪読し、解説と討論を行う。</p> <p>【授業計画】 近現代の女性史に関する文献を読む。</p> <p>【テキスト】 文献の複写を配布する。</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 近現代史を女性の視点から読み解いてみたいと思っています。そうすると、今まで見えなかったものが見えてきます。皆さんのものの感じ方、考え方に配慮しながら授業を進めていきたいと思っています。</p> <p>【評価方法】 期末レポート（80%）と平常点（20%）で評価します。 平常点は、出席及び授業にどれだけ積極的に取り組んだかで評価します。</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
30460		日本史特殊研究 6 A	2	原 淳一郎	前期	
<p>【達成目標】 置賜地方を事例として地域史の手法を学び、将来的に学生一人一人がそれぞれ生活する地域で地域史の担い手となるようにしていきたいと考えています。</p> <p>【授業内容・方法】 置賜地方のことを研究する場合に必要な先行研究・史料の調査、山形県に関する図書・論文の要約・批判、史料批判などの過程を経て、一つのテーマに絞りレポートを提出する。 積極的に米沢市や山形県・会津地方の民俗行事や伝統工芸・特産物の見学・調査に出かけたいと考えています。 もし可能であれば、民俗調査にも行ければと考えています。</p> <p>【授業計画】</p> <p>【テキスト】 とくになし</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】</p> <p>【評価方法】 出席・レポートの2点で評価します。</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
30510		日本史特殊研究 1 B	2	吉田 勲	後期	
<p>【達成目標】 古代史の多様な文献史料にふれるとともに、古代の政治・社会・地域・文化についての理解を深める。あわせて古代史料の調査方法を身につける。</p> <p>【授業内容・方法】 日本思想大系本『律令』を読む。分担して担当者を決め、ゼミ形式で進めていく。</p> <p>【授業計画】 ①古代史史料と律令についての解説 ②受講者による報告</p> <p>【テキスト】 『律令』（コピーして配布する）</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 古代史料の読み方、調べ方を身につけてもらいたい。 なお、「日本史特殊研究 1 A」「日本史演習 1 A・B」とあわせて受講すること。</p> <p>【評価方法】 授業への参加度（50%）、報告（50%）</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
30520		日本史特殊研究 2 B	2	藺部 寿樹	後期	
<p>【達成目標】 中世史に対する深い理解を得ること。</p> <p>【授業内容・方法】 中世社会史に関する主要な史料を、ゼミ形式で解説し考察します。</p> <p>【授業計画】 『吾妻鏡』を輪読します。</p> <p>【テキスト】 『吾妻鏡』（新訂増補国史大系）のコピーを配付します。</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 中世史の面白さを、より深く知ってほしいと思います。また、調査研究することの難しさ・楽しさ、そして発見することの喜びを味わって下さい。 ゼミ形式なので、受講生の積極的な発言を期待します。教員としても、受講生が発言しやすいように工夫したいと思います。 日本史演習 2 B と密接に関連させて授業をしますので、あわせて受講してください</p> <p>【評価方法】 平常点。 講読分担箇所の調査・解説の状況や、ゼミ討論への取り組みなどを評価します。</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
30530		日本史特殊研究 3 B	2	小林 文雄	後期	
<p>【達成目標】 1. 近世史料の読解力を高め、近世史についての理解を深める。 2. 史料調査の方法を身につける</p> <p>【授業内容・方法】 受講生各自が関心を持つ近世史料を選び、それについて調査・報告する。1～2回程度、史料調査の方法について講義し、史料整理、撮影などを体験する。</p> <p>【授業計画】 ①近世史料についての解説 ②～⑫受講者各自の報告と質疑応答 ⑬～⑮史料整理、撮影方法の解説</p> <p>【テキスト】 受講生の関心に合わせて決めたいと思います。</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 教室での授業が中心となります。希望ですが、実際の史料調査にも出かけることができれば、と考えています。なお、「日本酒特殊研究 3 A」、「日本史演習 3 A」、「日本史演習 3 B」と連動させた授業を行いますので、あわせて受講してください。</p> <p>【評価方法】 授業での報告 60%、討論への参加度 40%</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
30540		日本史特殊研究 4 B	2	布施 賢治	後期	
<p>【達成目標】 日本近代史に関する史料の講読を通じて、日本近代史の諸問題に対する理解を深める。政治史だけでなく、民衆史、文化史、地域史など、多様な史料を読んでいきたい。</p> <p>【授業内容・方法】 演習形式</p> <p>【授業計画】 ゼミ形式で1回につき1人ずつ発表してもらい、受講生全員で討論を行う。史料は受講生の興味や研究分野などを考慮して、話し合いながら受講生が担当する史料を具体的に決めていきたい。</p> <p>【テキスト】 受講生各人の関心に合わせて決定し、プリントを配布します。</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 日本史特殊研究 4 A、日本史演習 4 A・4 Bと関連して授業を行うので、あわせて受講してください。</p> <p>【評価方法】 授業への参加度と担当する報告レジュメの内容。</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
30550		日本史特殊研究 5 B	2	松田 澄子	後期	
<p>【達成目標】 近現代の女性の歴史について理解を深める。</p> <p>【授業内容・方法】 近現代の女性史に関する文献を学生と相談の上決めて輪読し、解説と討論を行う。</p> <p>【授業計画】 近現代の女性史に関する文献を読む。</p> <p>【テキスト】 文献の複写を配布する。</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 近現代史を女性の視点から読み解いてみたいと思っています。そうすると、今まで見えなかったものが見えてきます。皆さんのものの感じ方、考え方に配慮しながら授業を進めていきたいと思っています。</p> <p>【評価方法】 期末レポート（80%）と平常点（20%）で評価します。 平常点は、出席及び授業にどれだけ積極的に取り組んだかで評価します。</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
30560		日本史特殊研究 6 B	2	原 淳一郎	後期	
<p>【達成目標】 置賜地方を事例として地域史の手法を学び、将来的に学生一人一人がそれぞれ生活する地域で地域史の担い手となるようにしていきたいと考えています。</p> <p>【授業内容・方法】 置賜地方のことを研究する場合に必要な先行研究・史料の調査、山形県に関する図書・論文の要約・批判、史料批判などの過程を経て、一つのテーマに絞りレポートを提出する。 積極的に米沢市や山形県・会津地方の民俗行事や伝統工芸・特産物の見学・調査に出かけたいと考えています。 もし可能であれば、民俗調査にも行ければと考えています。</p> <p>【授業計画】</p> <p>【テキスト】 とくになし</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】</p> <p>【評価方法】 出席・レポートの2点で評価します。</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
30610		日本史演習 1 A	2	吉田 歆	前期	
<p>【達成目標】 日本古代史の研究はさまざまな切り口からおこなうことが可能である。受講生個人個人の関心に即して、各人が史料を調査し、考えをまとめ、発表することで、古代史研究に対する能力を高める。</p> <p>【授業内容・方法】 日本古代史に関する研究論文を輪読する。輪読を通して古代史論文の読解の方法や自分なりの考え方を整理する練習をする。</p> <p>【授業計画】 ①古代史の研究論文の読み方と整理の仕方について解説 ②受講者による担当論文の報告</p> <p>【テキスト】 受講生が用意するレジュメ。</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 受講生諸君が主体的に関わっていかなければ成り立たない演習である。真剣に取り組むことを通じて、歴史を調べることの楽しさを味わってもらいたい。 なお、「日本史演習 1 B」「日本史特殊研究 1 A・B」とあわせて受講すること。</p> <p>【評価方法】 授業への参加度（50%）、報告（50%）</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
30620		日本史演習 2 A	2	藺部 寿樹	前期	
<p>【達成目標】 中世史の研究文献の講読及び学生各人の卒業研究の報告を通して、各自の中世史研究に対する能力を高めること。</p> <p>【授業内容・方法】 学生各人の卒業研究に関する報告と討論。</p> <p>【授業計画】 学生各人の卒業研究に関する数回の発表とそれに対する討論により、授業をすすめます。</p> <p>【テキスト】 学生各自の発表報告レジュメ。</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 歴史を調査研究することにはかなりの困難がともないますが、それ故にこそ、事実関係を発見したり再評価できたときの喜びはひとしおです。先輩や友人達の調査研究のありかたに学びつつ、自己の卒業研究をすすめながら、調査活動の力を養っていきます。 ゼミ形式なので、受講生の積極的な発言を期待します。教員としても、受講生が発言しやすいように工夫したいと思います。 日本史特殊研究 2 A と密接に関連させて授業をしますので、あわせて受講してください。</p> <p>【評価方法】 平常点。ゼミ討論への取り組みなどを評価します。</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
30630		日本史演習 3 A	2	小林 文雄	前期	
<p>【達成目標】 1. 近世史の研究文献の輪読をとおして、学説を理解する能力を高める 2. 調べたことをまとめ、報告することをおして、自分の考えを伝える能力を高める。</p> <p>【授業内容・方法】 学生が報告・討論を中心に授業をすすめる。毎回、1名ないし数名の報告者を立てて、論文の内容を要約し、疑問点などを発表してもらう。その後、受講生全員による質疑応答、討論に入る。</p> <p>【授業計画】 ①受講者の関心に合わせて、第1回目の授業で、使用するテキストを相談する。 ②文献の読み方についての解説 ③～⑮受講者各自の報告と討論</p> <p>【テキスト】 受講生の関心にに応じて選定する。</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 学生が積極的に質問や発言できるよう心掛けたと思います。なお、「日本史演習 3 B」、「日本史特殊研究 3 A」、「日本史特殊研究 3 B」と関連させた授業を行うので、あわせて受講してください。</p> <p>【評価方法】 授業での報告 60%、討論への参加度 40%</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
30640		日本史演習 4 A	2	布施 賢治	前期	
<p>【達成目標】 日本近代史に関する研究論文の講読と、受講生の卒業研究の報告を通じて、受講生各人の日本近代史に対する研究能力を高める。</p> <p>【授業内容・方法】 演習形式</p> <p>【授業計画】 日本近代史に関する研究論文を講読し、それに対する討論を行う。また、受講生各人の卒業研究の報告も行う。ゼミ形式で1回につき1人ずつ発表してもらう。 講読する論文については、受講生の興味や研究分野などを考慮して、話し合いながら具体的に決めていきたい。</p> <p>【テキスト】 受講生各人の関心にあわせて決定し、プリントを配布します。</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 日本史演習 4 B、日本史特殊研究 4 A・4 Bと関連して授業を行うので、あわせて受講してください。</p> <p>【評価方法】 授業への参加度と担当する報告レジュメの内容。</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
30650		日本史演習 5 A	2	松田 澄子	前期	
<p>【達成目標】 文献・研究論文の講読や学生各自の卒業研究の報告を通して、近現代の女性史についての研究能力を養う。</p> <p>【授業内容・方法】 文献・研究論文を購読。学生各自の卒業研究に関する発表（数回）と討論</p> <p>【授業計画】 学生各自が準備する卒業研究に関する発表（数回）と討論によって、授業を進めていきます。</p> <p>【テキスト】 学生各自が発表するレジュメや参考資料</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 学生の皆さんが主体的に取り組むことを期待しています。また、皆さんの質問や意見などの発言ができる機会をより多く作っていきたいと思っています。</p> <p>【評価方法】 期末レポート（80%）、平常点（20%） 平常点は、授業への参加度や調査研究活動やゼミ討論への取り組みなどで評価します。</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
30660		日本史演習 6 A	2	原 淳一郎	前期	
<p>【達成目標】 卒業論文作成のための指導をおこなう。</p> <p>【授業内容・方法】 受講生それぞれの卒業論文執筆にむけた準備報告をもとに討論をおこなう。</p> <p>【授業計画】</p> <p>【テキスト】 特になし。必要があれば配布します。</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 計画的に卒業論文執筆を進めて下さい。悩んだら些細な質問でも構いませんので、是非相談に来てください。</p> <p>【評価方法】 2 回程度の卒業論文報告の内容と出席で決めます。</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
30710		日本史演習 1 B	2	吉田 勲	後期	
<p>【達成目標】 日本古代史の研究はさまざまな切り口からおこなうことが可能である。受講生個人個人の関心に即して、各人が史料を調査し、考えをまとめ、発表することで、古代史研究に対する能力を高める。</p> <p>【授業内容・方法】 日本古代史に関する研究論文を輪読する。輪読を通して古代史論文の読解の方法や自分なりの考え方を整理する練習をする。</p> <p>【授業計画】 ①受講者による担当論文の報告 ②卒業研究の進め方を解説 ③卒業研究の中間報告</p> <p>【テキスト】 受講生が用意するレジュメ。</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 受講生諸君が主体的に関わっていかなければ成り立たない演習である。真剣に取り組むことを通じて、歴史を調べることの楽しさを味わってもらいたい。 なお、「日本史演習 1 A」「日本史特殊研究 1 A・B」とあわせて受講すること。</p> <p>【評価方法】 授業への参加度（50%）、報告（50%）</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
30720		日本史演習 2 B	2	藪部 寿樹	後期	
<p>【達成目標】 中世史の研究文献の講読及び学生各人の卒業研究の報告を通して、各自の中世史研究に対する能力を高めること。</p> <p>【授業内容・方法】 学生各人の卒業研究に関する報告と討論。</p> <p>【授業計画】 学生各人の卒業研究に関する数回の発表とそれに対する討論により、授業をすすめます。</p> <p>【テキスト】 学生各自の発表報告レジュメ。</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 歴史を調査研究することにはかなりの困難がともないますが、それ故にこそ、事実関係を発見したり再評価できたときの喜びはひとしおです。先輩や友人達の調査研究のありかたに学びつつ、自己の卒業研究をすすめながら、調査活動の力を養っていきます。 ゼミ形式なので、受講生の積極的な発言を期待します。教員としても、受講生が発言しやすいように工夫したいと思います。 日本史特殊研究 2 B と密接に関連させて授業をしますので、あわせて受講してください。</p> <p>【評価方法】 平常点。ゼミ討論への取り組みなどを評価します。</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
30730		日本史演習 3 B	2	小林 文雄	後期	
<p>【達成目標】 1. 卒業研究の調査・報告をとおして、自身の考えを的確に伝える能力を高める。 2. 卒業研究論集を作成する。</p> <p>【授業内容・方法】 学生との報告・討論を中心に授業をすすめる。毎回、1名ないし数名の報告者を立てて、論文の内容を要約し、疑問点などを発表してもらう。その後、受講生全員による質疑応答、討論に入る。</p> <p>【授業計画】 ①～⑪ 受講者による報告と討論 ⑫～⑮ 卒業研究論集の作成</p> <p>【テキスト】 受講者の関心に応じて選定する。</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 「日本史演習 3 A」、「日本史特殊研究 3 A」、「日本史特殊研究 3 B」と関連させた授業を行うので、あわせて受講してください。また、卒業研究論集の編集作業を通じて、共同で新しい作品を作り出す楽しさを味わってください。</p> <p>【評価方法】 授業での報告 60%、討論への参加度 40%</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
30740		日本史演習 4 B	2	布施 賢治	後期	
<p>【達成目標】 日本近代史に関する研究論文の講読と、受講生の卒業研究の報告を通じて、受講生各人の日本近代史に対する研究能力を高める。</p> <p>【授業内容・方法】 演習形式</p> <p>【授業計画】 日本近代史に関する研究論文を講読し、それに対する討論を行う。また、受講生各人の卒業研究の報告も行う。ゼミ形式で1回につき1人ずつ発表してもらう。 講読する論文については、受講生の興味や研究分野などを考慮して、話し合いながら具体的に決めていきたい。</p> <p>【テキスト】 受講生各人の関心にあわせて決定し、プリントを配布します。</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 日本史演習 4 A、日本史特殊研究 4 A・4 Bと関連して授業を行うので、あわせて受講してください。</p> <p>【評価方法】 授業への参加度と担当する報告レジュメの内容。</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
30750		日本史演習 5 B	2	松田 澄子	後期	
<p>【達成目標】 文献・研究論文の講読や学生各自の卒業研究の報告を通して、近現代の女性史についての研究能力を養う。</p> <p>【授業内容・方法】 文献・研究論文の講読。学生各自の卒業研究に関する発表（数回）と討論</p> <p>【授業計画】 学生各自が準備する卒業研究に関する発表（数回）と討論によって、授業を進めていきます。</p> <p>【テキスト】 学生各自が発表するレジュメや参考資料。</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 学生の皆さんが主体的に取り組むことを期待しています。また、皆さんの質問や意見などの発言ができる機会をより多く作っていきたいと思っています。</p> <p>【評価方法】 期末レポート（80%）、平常点（20%） 平常点は、出席や調査研究活動やゼミ討論への取り組みなどで評価します。</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
30760		日本史演習 6 B	2	原 淳一郎	後期	
<p>【達成目標】 卒業論文作成のための指導をおこなう。</p> <p>【授業内容・方法】 受講生それぞれの卒業論文執筆にむけた準備報告をもとに討論をおこなう。</p> <p>【授業計画】</p> <p>【テキスト】 特になし。必要があれば配布します。</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 計画的に卒業論文執筆を進めて下さい。悩んだら些細な質問でも構いませんので、是非相談に来てください。</p> <p>【評価方法】 2 回程度の卒業論文報告の内容と出席で決めます。</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
30820		女性史 2	2	佐藤 和賀子	前期	教養
<p>【達成目標】 近現代の女性の歴史について基本的な知識を理解することができる。 現代の女性が直面している諸問題を歴史的に考察することができる。</p> <p>【授業内容・方法】 近現代の女性の歴史を7テーマに分け、統計・映像・絵画資料等も活用し多角的な視点から学ぶ。東日本大震災の体験をふまえ災害を女性の視点で歴史的に見直す。山形県の女性の歴史にも言及する。</p> <p>【授業計画】 1 はじめに 2 政治 (近代) 3 政治 (現代) 4 教育 (近代) 5 教育 (現代) 6 労働 (近代) 7 労働 (現代) 8 家族 (近代) 9 家族 (現代) 1 0 人権と性 (近代) 1 1 人権と性 (現代) 1 2 戦争と平和 (近代) 1 3 戦争と平和 (現代) 1 4 災害 1 5 まとめ</p> <p>【テキスト】 毎時間、資料プリントを配布</p> <p>【受講生へのメッセージ (授業評価を踏まえた方針など)】 最初にテーマに関連する時代の概説をおこない、高校や短大で日本史を学習していない受講者も理解できるように授業を進める。</p> <p>【評価方法】 試験 (70%) レポート (30%)</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
30830		考古学概説	2	佐藤 庄一	前期	教養
<p>【達成目標】 考古学は、過去の人が残したのから当時の生活や歴史を考える学問である。昔の生活の跡が何を物語るのか。本講義では、日本考古学の最新の内容と成果を、発掘された遺跡や遺物を通して説明する。ロマンと魅力にあふれる考古学を積極的に学び、現在の自分に得るところを吸収していただきたい。</p> <p>【授業内容・方法】 人々の営みがはじまった旧石器時代から現代までの日本の歩みを、毎回パワー・ポイントを用いて、映像資料を取り入れながらわかりやすく講義する。</p> <p>【授業計画】 (1) オリエンテーション「考古学のおもしろさ」 (7) 米沢市埋蔵文化財資料室の見学 (2) 石器と土器づくりの始まり (8) 平安時代と出羽国 (3) 縄文時代の人々と暮らし (9) 武士の社会と考古学 (4) 農耕社会の始まりと弥生文化 (10) 霊場と城館跡の調査 (5) 古墳時代と国家の誕生 (11) 発掘調査とは何か？ (6) うきたむ郡の設置と出羽国 (12) 考古学と文化財の保護</p> <p>【テキスト】 講義には定まったテキストを用いず、要点や主な映像資料を載せたレジюмеを毎回配布する。</p> <p>【受講生へのメッセージ (授業評価を踏まえた方針など)】 考古学はいまや歴史を学ぶ者にとって必須の学問である。歴史を新たな視点から考える面白さをぜひ感じとってほしい。講義資料は毎回10頁程だったが、スライドにしたものを多くという要望があったので、少し頁数を多くしたい。</p> <p>【評価方法】 授業への参加度・平常の講義及び野外学習における学習と態度、期末試験の考査。</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
30840		民俗学概説	2	岩鼻 通明	前期	教養

【達成目標】

この講義では、日本の山岳信仰をテーマとして取り上げる。まず、民俗学とは、どのような学問であるかを論じた上で、日本の山岳信仰に関する諸問題について、具体的事例を紹介しながら講義を進める。講義に際してはビデオ教材を活用する。

【授業内容・方法】

日本民俗学で扱う内容のうち、本講義では宗教および信仰に関わる民俗、その中でも日本に特有といえる山岳信仰について講義を展開する。

【授業計画】

- | | | | |
|------------|-------------|------------|-------------|
| 1 民俗学とは | 2 民俗学の歩み | 3 山岳信仰の歴史 | 4 山岳信仰と修行 |
| 5 山岳信仰と女性 | 6 立山の山岳信仰 | 7 比叡山の山岳信仰 | 8 石鎚山の山岳信仰 |
| 9 英彦山の山岳信仰 | 10 羽黒山の山岳信仰 | 11 月山の山岳信仰 | 12 湯殿山の山岳信仰 |
| 13 山岳信仰と女性 | 14 山岳信仰と食文化 | 15 まとめ | |

【テキスト】

特に使用しないが、付属図書館に所蔵されている民俗学関係の図書を参照してほしい。

【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】

自己の故郷の年中行事や祭礼などに関心を持ってほしい。基本的な文献としては、文庫本で出ている、柳田国男『遠野物語』や宮本常一『忘れられた日本人』などがあげられる。

板書は、なるべく整然と見やすい大きな文字で書くことにしたい。

【評価方法】

講義内容に関連した課題についての文献およびネット検索をふまえたレポート（出典は必ず明示すること）を学期末に提出することで、成績を評価する。

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
30850		歴史考古学	2	吉田 歆	後期	教養

【達成目標】

「歴史考古学」とは、文献史料が残っている時代を対象に、遺跡・遺物などの発掘資料から考察していく考古学の一分野である。本講義では、文献史料と考古学的成果がもっとも生かされる都市遺跡について取り上げる。

【授業内容・方法】

各回、一つの遺跡を選んで、講義形式で解説していく。

【授業計画】

- | | |
|-----------|----------|
| 日本の都市遺跡 | |
| 平泉と柳之御所遺跡 | 鎌倉の都市構造 |
| 室町幕府の御所 | 戦国時代の城下町 |
| 中世の港町 | 安土城 大坂城 |

【テキスト】

プリントを配付する。

【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】

文献史料と考古学資料を中心に歴史像が造られるプロセスを楽しんで欲しい。

【評価方法】

授業への参加度（50%）、試験（50%）

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
30860		生活文化史 1	2	小林 文雄	後期	教養

【達成目標】

当たり前に見える行為・習慣やものの感じ方や感覚などにも、時代や地域による違いがあること、歴史的な変化があることに気づいてもらう。

【授業内容・方法】

この講義では、暮らしのなかの「モノ」やしぐさ・習慣に注目することによって、近世から近代にかけてのものの感じ方、感性の変化を追う。講義形式で、音源や映像も活用する。

【授業計画】

- | | |
|---------------------|----------------|
| ①生活文化史の方法 | ⑧～⑨国境を越える西洋音楽 |
| ②～③日本の食事と食膳具の変遷 | ⑩～⑪明治初年の音読と黙読 |
| ④～⑤時間意識と時刻報知システムの歴史 | ⑫正月の過ごし方 |
| ⑥～⑦幕末維新期の西洋の音 | ⑬～⑭江戸時代の子どもと遊び |

【テキスト】

プリントを配ります。

【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】

講義形式です。授業の理解度をはかるために、質問用シートを何回か提出してもらいます。

【評価方法】

出席 70%、質問用シートによる評価 30%

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
30870		生活文化史 2	2	松田 澄子	後期	教養

【達成目標】

- 江戸時代～明治期の三行り半(離縁状)の形式や内容を理解する。
- 当時の女性の役割や地位について理解する。

【授業内容・方法】

本の輪読を通して、より詳しい解説と討論をしながら授業を進めます。できるだけゼミ形式でやりたいと思っています。

【授業計画】

以下の内容のうち、1項目につき1～2コマを予定しています。

- | | |
|-----------------|--------------------|
| 1、三行り半と幕府の法 | 2、三行り半の形態(書式・本文) |
| 3、離婚理由 | 4、なぜ三行り半なのか |
| 5、三行り半のタテマエとホンネ | 6、離婚の実態(夫婦による熟談離婚) |
| 7、明治期の結婚・離婚 | 8、明治民法制定後の結婚・離婚 |

【テキスト】

高木侃著『泣いて笑って三くだり半』、必要に応じてプリントを配布する。

【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】

当時の女性は、皆さんが考えているよりたくましく生きていたのかもしれませんが。皆さんの感じ方や考え方に配慮しながら、授業を進めていきたいと思っています。

【評価方法】

期末レポート(80%)と授業への参加度(20%)で評価します。

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放																
30880		国際交流史	2	布施 賢治	後期	教養																
<p>【達成目標】 日本の開国とその影響について講述し、19世紀日本をとりまいていた国際的環境を理解する。</p> <p>【授業内容・方法】 講義形式</p> <p>【授業計画】</p> <table border="0"> <tr> <td>①「対外関係史」「鎖国」という言葉をめぐって</td> <td>⑨日米和親条約の締結</td> </tr> <tr> <td>②「外圧」という言葉をめぐって</td> <td>⑩イギリスとの交渉</td> </tr> <tr> <td>③海外認識の高まり</td> <td>⑪ロシア・オランダとの交渉</td> </tr> <tr> <td>④知識人の対外認識—鎖国論、攘夷論、開国論—</td> <td>⑫幕府の積極的開国論と日米修好通商条約の締結</td> </tr> <tr> <td>⑤ロシアとの北方紛争</td> <td>⑬日清戦争の影響</td> </tr> <tr> <td>⑥モリソン号事件・アヘン戦争・ペリー来航情報</td> <td>⑭日本の植民地帝国化と日本人の海外進出</td> </tr> <tr> <td>⑦アメリカの日本開国動機</td> <td>…という予定です、映像も見る予定です</td> </tr> <tr> <td>⑧ペリー派遣の背景</td> <td></td> </tr> </table> <p>【テキスト】 必要に応じてプリントを配布します。</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 わかりやすい授業を心がけていきます。疑問点や質問は随時受け付けます。</p> <p>【評価方法】 期末レポート</p>							①「対外関係史」「鎖国」という言葉をめぐって	⑨日米和親条約の締結	②「外圧」という言葉をめぐって	⑩イギリスとの交渉	③海外認識の高まり	⑪ロシア・オランダとの交渉	④知識人の対外認識—鎖国論、攘夷論、開国論—	⑫幕府の積極的開国論と日米修好通商条約の締結	⑤ロシアとの北方紛争	⑬日清戦争の影響	⑥モリソン号事件・アヘン戦争・ペリー来航情報	⑭日本の植民地帝国化と日本人の海外進出	⑦アメリカの日本開国動機	…という予定です、映像も見る予定です	⑧ペリー派遣の背景	
①「対外関係史」「鎖国」という言葉をめぐって	⑨日米和親条約の締結																					
②「外圧」という言葉をめぐって	⑩イギリスとの交渉																					
③海外認識の高まり	⑪ロシア・オランダとの交渉																					
④知識人の対外認識—鎖国論、攘夷論、開国論—	⑫幕府の積極的開国論と日米修好通商条約の締結																					
⑤ロシアとの北方紛争	⑬日清戦争の影響																					
⑥モリソン号事件・アヘン戦争・ペリー来航情報	⑭日本の植民地帝国化と日本人の海外進出																					
⑦アメリカの日本開国動機	…という予定です、映像も見る予定です																					
⑧ペリー派遣の背景																						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放												
30910		地理学 1	2	藺部 寿樹	前期	教養												
<p>【達成目標】 人文地理学の一分野として、歴史地理学の基礎知識や方法論を修得すること。</p> <p>【授業内容・方法】 複数の時代を通しての大きな問題や各時代ごとの主要な問題について、具体的に考察します。 1～2回の講義で1つのテーマが完結する形で授業をすすめます。</p> <p>【授業計画】</p> <table border="0"> <tr> <td>①歴史地理学とは何か</td> <td>②・③日本人の起源論と形質分布</td> </tr> <tr> <td>④・⑤古代の歴史地理—風土記にみえる古代地名と古墳の分布—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑥・⑦気候変動と歴史社会</td> <td>⑧中世の歴史地理—荘園絵図—</td> </tr> <tr> <td>⑨日本図と世界図</td> <td>⑩・⑪近世の歴史地理—近世都市「江戸」—</td> </tr> <tr> <td>⑫日本の歴史地名</td> <td>⑬・⑭近現代の歴史地理—高度経済成長期における日本の変貌—</td> </tr> <tr> <td>⑮交通の歴史地理</td> <td></td> </tr> </table> <p>【テキスト】 プリントや参考資料を配布します。</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 具体的な問題を通して、歴史地理（学）の面白さを存分に味わってください。受講生の意見を踏まえて授業ができるように、毎テーマ終了後に小アンケートを実施します。</p> <p>【評価方法】 期末レポート（90%）、小アンケート[記名記載]による評価（10%）</p>							①歴史地理学とは何か	②・③日本人の起源論と形質分布	④・⑤古代の歴史地理—風土記にみえる古代地名と古墳の分布—		⑥・⑦気候変動と歴史社会	⑧中世の歴史地理—荘園絵図—	⑨日本図と世界図	⑩・⑪近世の歴史地理—近世都市「江戸」—	⑫日本の歴史地名	⑬・⑭近現代の歴史地理—高度経済成長期における日本の変貌—	⑮交通の歴史地理	
①歴史地理学とは何か	②・③日本人の起源論と形質分布																	
④・⑤古代の歴史地理—風土記にみえる古代地名と古墳の分布—																		
⑥・⑦気候変動と歴史社会	⑧中世の歴史地理—荘園絵図—																	
⑨日本図と世界図	⑩・⑪近世の歴史地理—近世都市「江戸」—																	
⑫日本の歴史地名	⑬・⑭近現代の歴史地理—高度経済成長期における日本の変貌—																	
⑮交通の歴史地理																		

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放										
30920		地理学 2	2	佐野 嘉彦	集中 (9月)	教養										
<p>【達成目標】 自然地理分野の一分野である気候学と歴史との関係から、現在、大きく取り上げられている温暖化などの環境問題までを学習します。さらに、空間認識の学習として地図の読み方を教えます。 これらを通して、自然地理学において大切なスケールというものを学びます。</p> <p>【授業内容・方法】</p> <p>【授業計画】</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 地理学とはー系統地理学と地誌ー「ニルスの不しぎな旅」から学ぶ地理学</td> <td>6. 歴史学と気象学との出会いー日記からわかる昔の天候ー昔の人も天気を気にしていた？</td> </tr> <tr> <td>2. 自然地理学の世界へー時空間の旅へー 時間と空間のスケール 人間が認識できる時間、空間スケール</td> <td>7. 大気環境科学入門ー公害から地球の危機までー危機感をあおっているのは誰だ？</td> </tr> <tr> <td>3. 自分が存在する場所を考えるー地形学入門ー</td> <td>8. 温暖化についてー本当に温暖化しているのか？ー</td> </tr> <tr> <td>4. 地図を楽しもう（地図の読図）ー旅行に地図は必要か？ー空中写真からみた町 ー鳥の目でみるー</td> <td>9. 異常気象についてーエルニーニョって異常なのか？ー日本と熱帯との関係を調べる</td> </tr> <tr> <td>5. 空間の認識（地理情報システムについて）ー最近の地理学の動向ーコンピュータを使って地図を見る</td> <td>10. 環境問題の解決のためにー人間の英知は時空間を越えてーその他、半日程度の市内巡検等を計画しております。徒歩が基本です。</td> </tr> </table> <p>【テキスト】 プリントで配布。</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 次のものを持参してください。・定規 10cm 程度のものでも大丈夫です・色鉛筆またはマーカー（4色程度で十分です）</p> <p>【評価方法】 授業への参加度と試験（時間の都合では試験の代わりにレポートになることもあります）</p>							1. 地理学とはー系統地理学と地誌ー「ニルスの不しぎな旅」から学ぶ地理学	6. 歴史学と気象学との出会いー日記からわかる昔の天候ー昔の人も天気を気にしていた？	2. 自然地理学の世界へー時空間の旅へー 時間と空間のスケール 人間が認識できる時間、空間スケール	7. 大気環境科学入門ー公害から地球の危機までー危機感をあおっているのは誰だ？	3. 自分が存在する場所を考えるー地形学入門ー	8. 温暖化についてー本当に温暖化しているのか？ー	4. 地図を楽しもう（地図の読図）ー旅行に地図は必要か？ー空中写真からみた町 ー鳥の目でみるー	9. 異常気象についてーエルニーニョって異常なのか？ー日本と熱帯との関係を調べる	5. 空間の認識（地理情報システムについて）ー最近の地理学の動向ーコンピュータを使って地図を見る	10. 環境問題の解決のためにー人間の英知は時空間を越えてーその他、半日程度の市内巡検等を計画しております。徒歩が基本です。
1. 地理学とはー系統地理学と地誌ー「ニルスの不しぎな旅」から学ぶ地理学	6. 歴史学と気象学との出会いー日記からわかる昔の天候ー昔の人も天気を気にしていた？															
2. 自然地理学の世界へー時空間の旅へー 時間と空間のスケール 人間が認識できる時間、空間スケール	7. 大気環境科学入門ー公害から地球の危機までー危機感をあおっているのは誰だ？															
3. 自分が存在する場所を考えるー地形学入門ー	8. 温暖化についてー本当に温暖化しているのか？ー															
4. 地図を楽しもう（地図の読図）ー旅行に地図は必要か？ー空中写真からみた町 ー鳥の目でみるー	9. 異常気象についてーエルニーニョって異常なのか？ー日本と熱帯との関係を調べる															
5. 空間の認識（地理情報システムについて）ー最近の地理学の動向ーコンピュータを使って地図を見る	10. 環境問題の解決のためにー人間の英知は時空間を越えてーその他、半日程度の市内巡検等を計画しております。徒歩が基本です。															

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
30930		地誌学	2	藺部 寿樹	後期	教養
<p>【達成目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 日本における地誌（学）のありかたやその意義を修得すること。 2. 日本の地理的なありかたについて理解を深めること。 <p>【授業内容・方法】 地誌学とは、特定の地域空間の地理的個性を体系的に説明・記述することを目的とする学問です。また特定地域の地理を総合的に記述したものが、地誌です。具体的に地誌を輪読しながら、地誌について学びます。</p> <p>【授業計画】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①地誌学とは何か。 ②日本における各種の地誌書・紀行文などの紹介 ③『史料京都の歴史』社会・文化を輪読形式で読みます。 <p>【テキスト】 プリントを配布します。</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 地誌（学）に対して、ともすれば無味乾燥な印象をもっているかもしれません。しかし、地誌（学）を通して具体的な地域のありかたを考察するのは、たいへん楽しい作業です。輪読形式で授業をすすめますので、積極的に関与（質問・発言など）することを期待しています。</p> <p>【評価方法】 期末レポート（80%）、平常点（20%） 平常点とは、輪読の責を果たしたかどうか（輪読の順番の折に出席して指定された箇所の読解をおこなったかどうか）という点に対する評価です。</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放																		
30940		法律学	2	高木 紘一	後期	教養																		
<p>【達成目標】 現代社会において法の果たしている重要な機能や役割を、できるだけ具体的な事例を通じて理解することを目標とします。そのために、「法とはなにか」という法律学の最も基本的な問題及び法と裁判に関する基本原則を踏まえたうえで、国家と個人が最も直接的にかかわる刑事裁判の仕組み・内容、課題を通じて、法の意義を考えます。</p> <p>【授業内容・方法】</p> <p>【授業計画】</p> <table border="0"> <tr> <td>①法とは何か(1)－法規範と社会規範(風俗・慣習、宗教、道徳)</td> <td>⑦刑事裁判と法(1)－捜査から起訴へ(令状主義、取り調べ→代用監獄、可視化の課題)</td> <td>⑪犯罪と刑罰の法(2)－犯罪とは何か(三要件→構成要件、違法性、有責性)</td> </tr> <tr> <td>②法とは何か(2)－法の定義(強制力、適用範囲、規範の質)</td> <td>⑧刑事裁判と法(2)－起訴をめぐる重要原則(起訴便宜主義→検察審査会と強制起訴)</td> <td>⑫犯罪と刑罰の法(3)－刑罰の思想、刑罰の種類、死刑存廃論(歴史、現状、世界の流れ)</td> </tr> <tr> <td>③法源－法の存在形態(法の存在する姿)</td> <td>⑨刑事裁判と法(2)－公判をめぐる重要原則(自由心証主義、証拠法則→自白の証拠能力)</td> <td>⑬裁判員裁判－制度の趣旨、仕組み・内容、問題点及び課題</td> </tr> <tr> <td>④法の種類－公法、私法、社会法(近代市民社会の成立とその変化を背景とする)</td> <td>⑩犯罪と刑罰の法(1)－人権保障と罪刑法定主義(近代刑法の基本原則－憲法39条)</td> <td>⑭ビデオ観賞－陪審員裁判「12人の恐れる男」(米)</td> </tr> <tr> <td>⑤法と裁判(1)－紛争処理と裁判、裁判の種類・裁判所の組織、裁判の手続(3審制)</td> <td></td> <td>⑮授業のまとめ－法学学習の意義と法治主義</td> </tr> <tr> <td>⑥法と裁判(2)－裁判の基本原則(裁判の公開、当事者主義)</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>【テキスト】 伊藤博義「若者たちと法を学ぶ」有斐閣(購買部から購入のこと)</p> <p>【受講生へのメッセージ(授業評価を踏まえた方針など)】 法律は一見分かりづらく難しいもののように思われがちですが、具体的な問題から法を眺めると、私たちにとって、こんなに身近で面白いものかということが必ず分かってきます。この授業を通じて、人権感覚を磨きましょう。</p> <p>【評価方法】 試験(70%)、授業への参加度(出席カードの記述内容で判断)(30%)</p>							①法とは何か(1)－法規範と社会規範(風俗・慣習、宗教、道徳)	⑦刑事裁判と法(1)－捜査から起訴へ(令状主義、取り調べ→代用監獄、可視化の課題)	⑪犯罪と刑罰の法(2)－犯罪とは何か(三要件→構成要件、違法性、有責性)	②法とは何か(2)－法の定義(強制力、適用範囲、規範の質)	⑧刑事裁判と法(2)－起訴をめぐる重要原則(起訴便宜主義→検察審査会と強制起訴)	⑫犯罪と刑罰の法(3)－刑罰の思想、刑罰の種類、死刑存廃論(歴史、現状、世界の流れ)	③法源－法の存在形態(法の存在する姿)	⑨刑事裁判と法(2)－公判をめぐる重要原則(自由心証主義、証拠法則→自白の証拠能力)	⑬裁判員裁判－制度の趣旨、仕組み・内容、問題点及び課題	④法の種類－公法、私法、社会法(近代市民社会の成立とその変化を背景とする)	⑩犯罪と刑罰の法(1)－人権保障と罪刑法定主義(近代刑法の基本原則－憲法39条)	⑭ビデオ観賞－陪審員裁判「12人の恐れる男」(米)	⑤法と裁判(1)－紛争処理と裁判、裁判の種類・裁判所の組織、裁判の手続(3審制)		⑮授業のまとめ－法学学習の意義と法治主義	⑥法と裁判(2)－裁判の基本原則(裁判の公開、当事者主義)		
①法とは何か(1)－法規範と社会規範(風俗・慣習、宗教、道徳)	⑦刑事裁判と法(1)－捜査から起訴へ(令状主義、取り調べ→代用監獄、可視化の課題)	⑪犯罪と刑罰の法(2)－犯罪とは何か(三要件→構成要件、違法性、有責性)																						
②法とは何か(2)－法の定義(強制力、適用範囲、規範の質)	⑧刑事裁判と法(2)－起訴をめぐる重要原則(起訴便宜主義→検察審査会と強制起訴)	⑫犯罪と刑罰の法(3)－刑罰の思想、刑罰の種類、死刑存廃論(歴史、現状、世界の流れ)																						
③法源－法の存在形態(法の存在する姿)	⑨刑事裁判と法(2)－公判をめぐる重要原則(自由心証主義、証拠法則→自白の証拠能力)	⑬裁判員裁判－制度の趣旨、仕組み・内容、問題点及び課題																						
④法の種類－公法、私法、社会法(近代市民社会の成立とその変化を背景とする)	⑩犯罪と刑罰の法(1)－人権保障と罪刑法定主義(近代刑法の基本原則－憲法39条)	⑭ビデオ観賞－陪審員裁判「12人の恐れる男」(米)																						
⑤法と裁判(1)－紛争処理と裁判、裁判の種類・裁判所の組織、裁判の手続(3審制)		⑮授業のまとめ－法学学習の意義と法治主義																						
⑥法と裁判(2)－裁判の基本原則(裁判の公開、当事者主義)																								

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放												
30950		政治学	2	亀ヶ谷雅彦	後期													
<p>【達成目標】 政治学や政治心理学の知見を用いて、政治現象についての理解を深めることができる。</p> <p>【授業内容・方法】 政治過程や政治現象の心理的側面に関するトピックを取り上げて講義する。ただし、政治学の初学者向けに、前半で政治学や政治過程論に関する内容を講義し、政治心理学に関する内容は後半で取り上げる。</p> <p>【授業計画】</p> <table border="0"> <tr> <td>①はじめに</td> <td>②～③民主主義の変遷</td> <td>④～⑤イデオロギー</td> </tr> <tr> <td>⑥～⑦政党と政党支持</td> <td>⑧世界の選挙</td> <td>⑨～⑩選挙の理論</td> </tr> <tr> <td>⑪政治的社会化</td> <td>⑫政治的パーソナリティ</td> <td>⑬～⑭政策決定ゲーム</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>⑮テロリズム</td> </tr> </table> <p>【テキスト】 レジュメをPDF形式で配布する。ダウンロード方法は授業開始時に教示する。</p> <p>【受講生へのメッセージ(授業評価を踏まえた方針など)】 履修する学生は、日々のニュースや新聞に気を配るようにして下さい。また、「社会心理学」「集合行動論」「国際関係論」といった科目も履修すると、理解が深まると思います。</p> <p>【評価方法】 課題レポート(70%)、授業への参加度(30%)</p>							①はじめに	②～③民主主義の変遷	④～⑤イデオロギー	⑥～⑦政党と政党支持	⑧世界の選挙	⑨～⑩選挙の理論	⑪政治的社会化	⑫政治的パーソナリティ	⑬～⑭政策決定ゲーム			⑮テロリズム
①はじめに	②～③民主主義の変遷	④～⑤イデオロギー																
⑥～⑦政党と政党支持	⑧世界の選挙	⑨～⑩選挙の理論																
⑪政治的社会化	⑫政治的パーソナリティ	⑬～⑭政策決定ゲーム																
		⑮テロリズム																

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
30960		社会学	2	中川 恵	前期	
<p>【達成目標】</p> <p>1. 社会学の専門知識を習得する。 2. 学術論文を読解する力を身につける。 3. 関連する社会課題・事象について関心を広げる力を伸長する。</p> <p>【授業内容・方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会集団の構造——イエの論理、ムラのしくみ ・環境——構築と抗争 ・国民国家と近代——歴史、記録 <p style="text-align: right;">*内容は、受講生の関心等によって変更する場合があります</p> <p>【授業計画】</p> <p>①～②イントロダクション ③～⑪ 重要概念の解説、主要論文の読解・解説、グループ・ワークを通じた意見交換 ⑫～⑭個人レポート報告/添削 ⑮個人レポートの再提出</p> <p>【テキスト】</p> <p>なし。参考文献は講義の中で適宜紹介する。</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】</p> <p>社会学は、私たちの生活および社会がどのようなルールのもとに営まれているかを明らかにし、より良いルールとは何かを模索する学問です。</p> <p>1. および 2. の目標については、毎時の演習課題によって評価します。論文読解については、論文構成を基礎から学びます。3. の課題については、期末レポートによって評価します。</p> <p>【評価方法】</p> <p>毎授業内で提示する演習課題の提出（70%）、期末レポート（30%）によって評価する。</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
30970		経済学	2	鈴木 久美	前期	
<p>【達成目標】</p> <p>日常生活とミクロ経済学，マクロ経済学の概念の融合を目的とします。 新聞やテレビの経済ニュースを経済理論で説明できるようになることを目的とします。</p> <p>【授業内容・方法】</p> <p>講義は，講義形式を主体とする。テーマごとに講義を受けた後，確認のために授業内課題を行います。</p> <p>【授業計画】</p> <p>①ガイダンス ②経済学概論 ③需要 ④需要曲線 ⑤供給 ⑥供給曲線 ⑦市場均衡 ⑧均衡の変化・確認課題(1) ⑨GDP (1)定義など ⑩GDP (2)名目と実質 ⑪国民所得の決定(1)民間消費 ⑫国民所得の決定(2)投資・政府支出 ⑬国民所得の決定(3)均衡国民所得 ⑭財政乗数・租税乗数 ⑮確認課題(2)・まとめ</p> <p>【テキスト】</p> <p>必要に応じて授業内で指定します。</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】</p> <p>経済学は，積み上げていくタイプの科目なので毎回の講義をきちんと理解しないと次回の講義が理解できなくなる可能性があります。そのため，復習を厭わない方にお勧めします。数学を利用します。</p> <p>【評価方法】</p> <p>期末テスト（80%）、確認課題（20%）</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
30980		倫理学	2	大川 真	集中 (9月)	教養
<p>【達成目標】 多様性の尊重や寛容の精神が希薄になっている現在、「共生」とは何か、またそれがなぜ大事なのかということを考えられようになること。</p> <p>【授業内容・方法】 ヘイトスピーチや IS (イスラミック・ステイト) の相次ぐテロなどを題材にして、異なる価値観を持つ他者とどのように協働していくのかを考えていきます。下記にもありますが、この授業では知識を教授するのではなく、受講生同士による「熟議」を中心に進めていきます。</p> <p>【授業計画】 以下の事項を主に考えていきます。 1, 在日コリアンと「差別」 2, 第二次世界大戦とジェノサイド・ホロコースト 3, 今も続く「内戦」 4, 障害とバリアフリーをめぐって</p> <p>【テキスト】 映画・DVD・ドキュメンタリーなどの映像資料も題材にしていきます。</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 授業は「熟議」を中心に進めます。受講生のみなさんからの積極的な発言を求めます。</p> <p>【評価方法】 平常点（授業への参加度・小テスト）60点とレポート40点。</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
30990		哲学	2	小熊 正久	前期	教養
<p>【達成目標】 人間と世界の関わりについて考える。 生活での感覚やさまざまな知識を活かしながら、人間について考えることを目標とする。</p> <p>【授業内容・方法】 身体、自己、言葉、環境、他者などの観点から、人間とまわりの世界の関わりについて考えるための大筋を示す。途中で、テーマと関連する哲学の歴史についても触れる。</p> <p>【授業計画】 導入 I ①身体について ②知覚と身体 II ③デカルトの哲学 ④自己の問題と実存ないし世界内存在 III ⑤ソクラテスとプラトン ⑥イギリス経験論の哲学 ⑦言語と意味 IV ⑧環境の中の動物と人間 V ⑨自己と他者 (各主題は1～2回程度)</p> <p>【テキスト】 テキストは使用しない。プリントを配布して授業を進める。</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 それぞれの主題を明確にすることによって、わかりやすい授業としたい。質問や感想をどんどん提示してみよう。</p> <p>【評価方法】 授業参加（出席と質問や感想）(20%) と2回程度の課題提出(80%)による。</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放																
31000		宗教学	2	原 淳一郎	前期	教養																
<p>【達成目標】 世界の宗教を事例としながら、人間にとって宗教とはどのようなものかという普遍的な宗教学の課題を考えていきたい。</p> <p>【授業内容・方法】</p> <p>【授業計画】</p> <table> <tr> <td>1, 宗教はどのようにして生まれるのか?</td> <td>9, イスラム</td> </tr> <tr> <td>2, 宗教の定義、宗教の分類</td> <td>10, ヒンドゥー教</td> </tr> <tr> <td>3, 宗教的世界観1 (神話の世界1)</td> <td>11, 仏教</td> </tr> <tr> <td>4, 宗教的世界観2 (神話の世界2)</td> <td>12, 日本における仏教</td> </tr> <tr> <td>5, 宗教的世界観3 (聖と俗)</td> <td>13, 儒教・老荘思想・道教・修験道</td> </tr> <tr> <td>6, 宗教的世界観4 (死と再生)</td> <td>14, 神道と国家神道</td> </tr> <tr> <td>7, 宗教的世界観5 (天国と地獄)</td> <td>15, 新宗教と現代宗教</td> </tr> <tr> <td>8, ユダヤ教とキリスト教</td> <td></td> </tr> </table> <p>【テキスト】 とくになし。</p> <p>【受講生へのメッセージ (授業評価を踏まえた方針など)】 参考図書として、岸本英夫『宗教学』、宮家準『宗教民俗学』・『日本の民俗宗教』。興味が出てきたら是非読んでみて理解を深めて下さい。さらに関心があれば、適宜海外の文献も含めてお教えします。</p> <p>【評価方法】 出席・レポートの2点で評価します。</p>							1, 宗教はどのようにして生まれるのか?	9, イスラム	2, 宗教の定義、宗教の分類	10, ヒンドゥー教	3, 宗教的世界観1 (神話の世界1)	11, 仏教	4, 宗教的世界観2 (神話の世界2)	12, 日本における仏教	5, 宗教的世界観3 (聖と俗)	13, 儒教・老荘思想・道教・修験道	6, 宗教的世界観4 (死と再生)	14, 神道と国家神道	7, 宗教的世界観5 (天国と地獄)	15, 新宗教と現代宗教	8, ユダヤ教とキリスト教	
1, 宗教はどのようにして生まれるのか?	9, イスラム																					
2, 宗教の定義、宗教の分類	10, ヒンドゥー教																					
3, 宗教的世界観1 (神話の世界1)	11, 仏教																					
4, 宗教的世界観2 (神話の世界2)	12, 日本における仏教																					
5, 宗教的世界観3 (聖と俗)	13, 儒教・老荘思想・道教・修験道																					
6, 宗教的世界観4 (死と再生)	14, 神道と国家神道																					
7, 宗教的世界観5 (天国と地獄)	15, 新宗教と現代宗教																					
8, ユダヤ教とキリスト教																						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放																
31010		思想史	2	小野 卓也	前期																	
<p>【達成目標】 日本は昔から、インドや中国の文化を積極的に取り入れてきました。その結果、私たちの習慣やものの考え方の背景には、知らず知らずのうちにこうした国々の影響が多く残されています。 この授業では、私たちの日常生活にひそむインドや中国からの影響を学び、その発想や捉え方の違いを、日本と比較して見ていきます。</p> <p>【授業内容・方法】</p> <p>【授業計画】</p> <table> <tr> <td>①日本語の中のインドの言葉</td> <td>⑤苦と解脱</td> <td>⑨愛と慈悲</td> <td>⑬仏教と女性</td> </tr> <tr> <td>②七福神の成り立ち</td> <td>⑥善悪の基準</td> <td>⑩心とは何か</td> <td>⑭家族のあり方</td> </tr> <tr> <td>③カレーライスの歴史</td> <td>⑦業と来世</td> <td>⑪身分と差別</td> <td>⑮恋愛と結婚</td> </tr> <tr> <td>④無常について</td> <td>⑧先祖と神仏</td> <td>⑫議論と論理</td> <td></td> </tr> </table> <p>【テキスト】 プリントを配布しますので、穴をあけて綴じられる A4 ファイルを用意してください。</p> <p>【受講生へのメッセージ (授業評価を踏まえた方針など)】 みんなが知っているのに、その由来を知らないこと、今の私たちには信じられないようなものの考え方に触れることで、当たり前だと思っていたことを1度見直してみましょう。そうすれば新しいアイデアが浮かんでくるかもしれません。</p> <p>【評価方法】 毎回、授業の終わりに感想・質問を書いてもらい、これを出席点とします。そのほかにレポートを2回書いてもらい、出席点 (80%)、レポート (20%) で成績を評価します。</p>							①日本語の中のインドの言葉	⑤苦と解脱	⑨愛と慈悲	⑬仏教と女性	②七福神の成り立ち	⑥善悪の基準	⑩心とは何か	⑭家族のあり方	③カレーライスの歴史	⑦業と来世	⑪身分と差別	⑮恋愛と結婚	④無常について	⑧先祖と神仏	⑫議論と論理	
①日本語の中のインドの言葉	⑤苦と解脱	⑨愛と慈悲	⑬仏教と女性																			
②七福神の成り立ち	⑥善悪の基準	⑩心とは何か	⑭家族のあり方																			
③カレーライスの歴史	⑦業と来世	⑪身分と差別	⑮恋愛と結婚																			
④無常について	⑧先祖と神仏	⑫議論と論理																				

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
		卒業研究	4	日本史専任教員	通年	
<p>【達成目標】 学生個人の研究テーマを決定し、先行研究を整理し、課題を設定する。資史料を収集して、研究結果を明らかにする。</p> <p>【授業内容・方法】 各研究室の担当教員の指導のもと、個人が研究を進める</p> <p>【授業計画】 各研究室の担当教員の指導のもと、個人が研究を進める</p> <p>【テキスト】 なし</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 計画的に研究を進めること。関連する参考文献、資史料については各研究室の担当教員に相談すること。必修科目のため、提出期限は厳守すること。</p> <p>【評価方法】 卒業研究70%、口頭試問30%</p>						